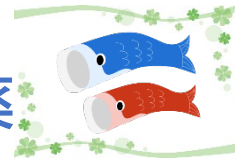


薬の伝言板

じょくそうの薬



No.306 2023年5月

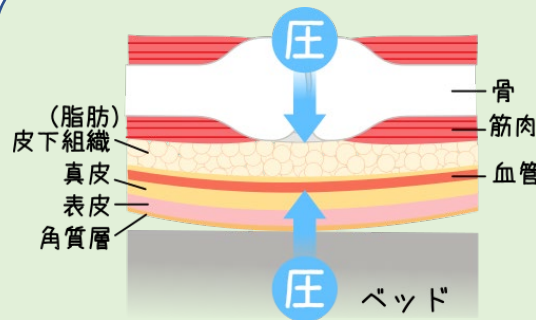
丸子中央病院 薬局

日常の活動量が減っている高齢者や、様々な病気の療養などで寝ている時間が長くなった方をご自宅で介護している中で「お尻に赤みがある」「最近では寝たきりで、ほとんどベッドから出ない」「以前より食が細くなってきた」などの変化に気づくことはありませんか？こうした気づきは、もしかしたら褥瘡のサインかもしれません。

今回は褥瘡ができる原因と、治療に用いるお薬についてお話します。

褥瘡とは

床ずれは医学的には「褥瘡(じょくそう)」と呼ばれ、寝たきりなどによって長時間同じ場所が圧迫されることや、摩擦やズレなどが加わることで皮膚がただれたり、キズができてしまうことです。



褥瘡は骨と皮膚の間の血管が押しつぶされて血行不良となり、皮膚や皮下組織に栄養や酸素が行きわたらなくなることで発生します。

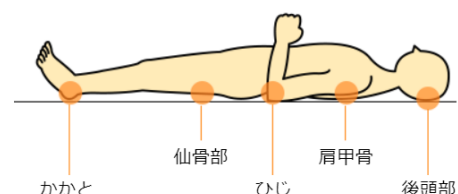
褥瘡ができやすい条件

CHECK

- ✓ 高齢である
- ✓ 寝返りが難しくなっている
- ✓ 食事が思うように食べられなくなって痩せてきた
- ✓ おむつを使用している

このような場合は褥瘡になる可能性が高く注意が必要です。特に骨が突き出している部位は圧力がかかりやすく、褥瘡が発生しやすい部位になります。

褥瘡ができやすい部位



治療薬

褥瘡の治療に用いる外用薬は、キズの深さや浸出液の量、感染、壊死組織の有無、ポケットの有無などの状態に合わせて使い分けたり混合したりして使用します。

◆ 褥瘡治療外用薬 ◆

医薬品名	深い褥瘡				浅い褥瘡
	浸出液	感染	壊死組織	ポケット	
スルファジアジン銀クリーム	◎	◎	○		
精製白糖・ポビドンヨード [®] 軟膏	◎	◎		○	
ポビドンヨードゲル		○			
白色ワセリン	○				○
亜鉛華軟膏	○				○
ジメチルソルビトールアルブミン軟膏	○				○
トラフェルミンスプレー				○	
トレチノイントコフェリル軟膏				○	
アルブミンゲル アルブミン軟膏					○
ブクラデシンナトリウム軟膏					○

外用薬は褥瘡を埋めるように厚く塗布しましょう。

スルファジアジン銀クリームやポビドンヨードゲルは正常な皮膚に障害を与える場合があります。処置の前には泡石鹸を使って周囲の皮膚に着いた薬剤や浸出液を洗い流しましょう。

褥瘡の予防

日々の介護の中で、ちょっとしたひと手間を加えるだけでも褥瘡を予防することができます。例えばベッドに寝たときや電動ベッドをギャッチアップしたときなど、背中や腰、ふくらはぎや踵の下に手を差し込んで衣類やシーツのしわを伸ばしながら圧抜き（背抜き）をすると皮膚の緊張が取ることができます。また市販のスキンローションを塗って皮膚を保護することも大切です。



褥瘡が進行して深いキズになると皮下組織や筋肉がむき出しとなり、さらに進行すると骨まで達してしまいます。このような深い褥瘡は完治するまで数か月から1年以上かかってしまうこともあります。

介護の中で褥瘡のサインに気づいたときは、褥瘡が進行する前に早めに診察を受けて、キズの状態に合わせて適正な医薬品で処置ができるようにしましょう。

外用薬の使用方法について不明な点は薬剤師にご相談ください。